

3 病院団体 緊急要望

2024年度 病院経営定期調査

- 中間報告 -

緊急速報



一般社団法人 日本病院会



公益社団法人 全日本病院協会



一般社団法人 日本医療法人協会

2024年 9月18日



一般社団法人 日本病院会 会長 相澤 孝夫
公益社団法人 全日本病院協会 会長 猪口 雄二
一般社団法人 日本医療法人協会 会長 加納 繁照

病院経営の危機的状況に対する救済措置・財政支援の要望

記

- 日本病院会、全日本病院協会、日本医療法人協会の 3 病院団体は、診療報酬改定や、我が国の経済状況が医療機関に与える影響を調査・検証し、会員病院の運営に資すると共に、次回改定に向けて医療政策が改善する資料として発信していくことを目的として合同で調査を行っている。ここに中間結果(速報値)を取りまとめたので報告する。
- 3 病院団体による 2024 年度病院経営定期調査の中間報告(速報値)により、**病院の経営状況が急速に悪化している**ことが明らかとなった。
- 医業損益の前年同月比較(2023 年 6 月/2024 年 6 月)では**減収・減益**となっており、極めて厳しい経営状況が明らかとなった。
- 病院は深刻な経営不振の状況に陥っており、このままでは地域医療に少なからず影響が出る恐れが高い。国民の生命を守るためにも、**特例的な救済措置・財政支援**を求める。

- 調査目的：診療報酬改定が病院運営に与える影響を検証し、会員病院の運営に資することを目的とし、さらには安定的な病院運営が維持できる報酬設定を求めめるため、中央社会保険医療協議会や社会保障審議会等の協議の場に、その根拠となるデータを提示する。
- 調査方法：日本病院会、全日本病院協会及び日本医療法人協会に加盟する全病院に、診療収入等についてEメール又はFAX等による調査票配布により実施、回収を行った。
- 調査期間：2024年7月22日～8月30日※本中間報告書は、8月29日提出分までを集計。現在、9月27日まで回答期限延長中。
- 主な調査項目：2023年・2024年の各6月の診療収益、一人一日あたりの診療収入、延患者数、診療行為別点数、医業損益等の前年同月比較。2022年度～2023年度の医業損益等の通年比較等。
- 回答数：541病院（回答率：12.2%） 有効回答数：480病院
（会員数：4,443病院：2024年7月1日現在）

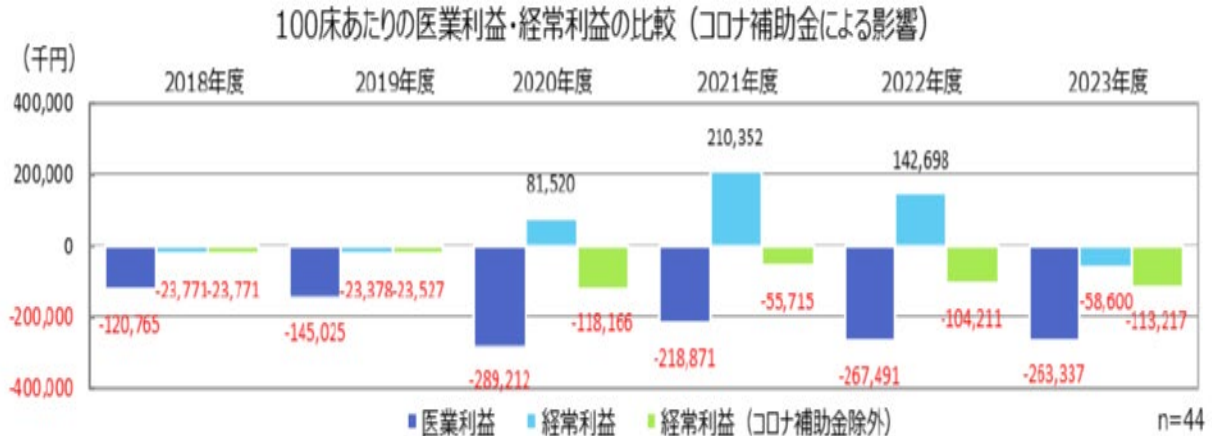
I. 医業損益の2年度連続比較(2022年度/2023年度) 全病院の医業損益・100床あたりの平均

科目 (単位：千円)	全病院 (n=396) 平均病床数：303			
	2022年度	2023年度	差引増減	前年比
①医業収益	2,735,569	2,817,369	81,800	3.0%
②医業費用	2,945,349	3,017,661	72,312	2.5%
③医業利益 (①-②)	-209,780	-200,291	9,488	
④医業外収益	394,963	217,538	-177,424	-44.9%
⑤医業外費用	50,824	51,370	546	1.1%
⑥経常利益 ((①+④) - (②+⑤))	134,359	-34,123	-168,482	
コロナ関連,水道光熱費の補助金を除く 経常利益 (⑥-(⑦+⑧))	-87,182	-83,912	3,271	
医業利益率 (③÷①)	-7.7%	-7.1%		
経常利益率 (⑥÷①)	4.9%	-1.2%		
※1_補助金(運営・施設・その他)	282,201	126,936	-155,265	-55.0%
※2_補助金を除く医業外収益 (④-※1)	112,761	90,603	-22,159	-19.7%
※3_損益差額 (③+※2-⑤)	-147,842	-161,058	-13,217	
⑦コロナ関連 緊急包括支援事業 補助金	219,227	46,772		
⑧水道光熱費 補助金	2,314	3,017		
⑨人材紹介会社へ支払う紹介手数料・委託料	5,039	4,414		

II. 医業損益の前年同月比較(2023年6月/2024年6月) 全病院の医業損益・100床あたりの平均

科目 (単位：千円)	全病院 (n=369) 平均病床数：280			
	2023年6月	2024年6月	差引増減	前年比
①医業収益	218,533	218,352	-181	-0.1%
②医業費用	237,930	240,159	2,230	0.9%
③医業利益 (①-②)	-19,396	-21,807	-2,411	
④医業外収益	7,834	6,250	-1,584	-20.2%
⑤医業外費用	2,230	1,767	-463	-20.8%
⑥経常利益 ((①+④) - (②+⑤))	-13,793	-17,324	-3,532	
コロナ関連,水道光熱費の補助金を除く 経常利益 (⑥-(⑦+⑧))	-14,919	-17,353	-2,434	
医業利益率 (③÷①)	-8.9%	-10.0%		
経常利益率 (⑥÷①)	-6.3%	-7.9%		
⑦コロナ関連 緊急包括支援事業 入金額	1,067	3		
⑧水道光熱費関連補助金 入金額	59	25		



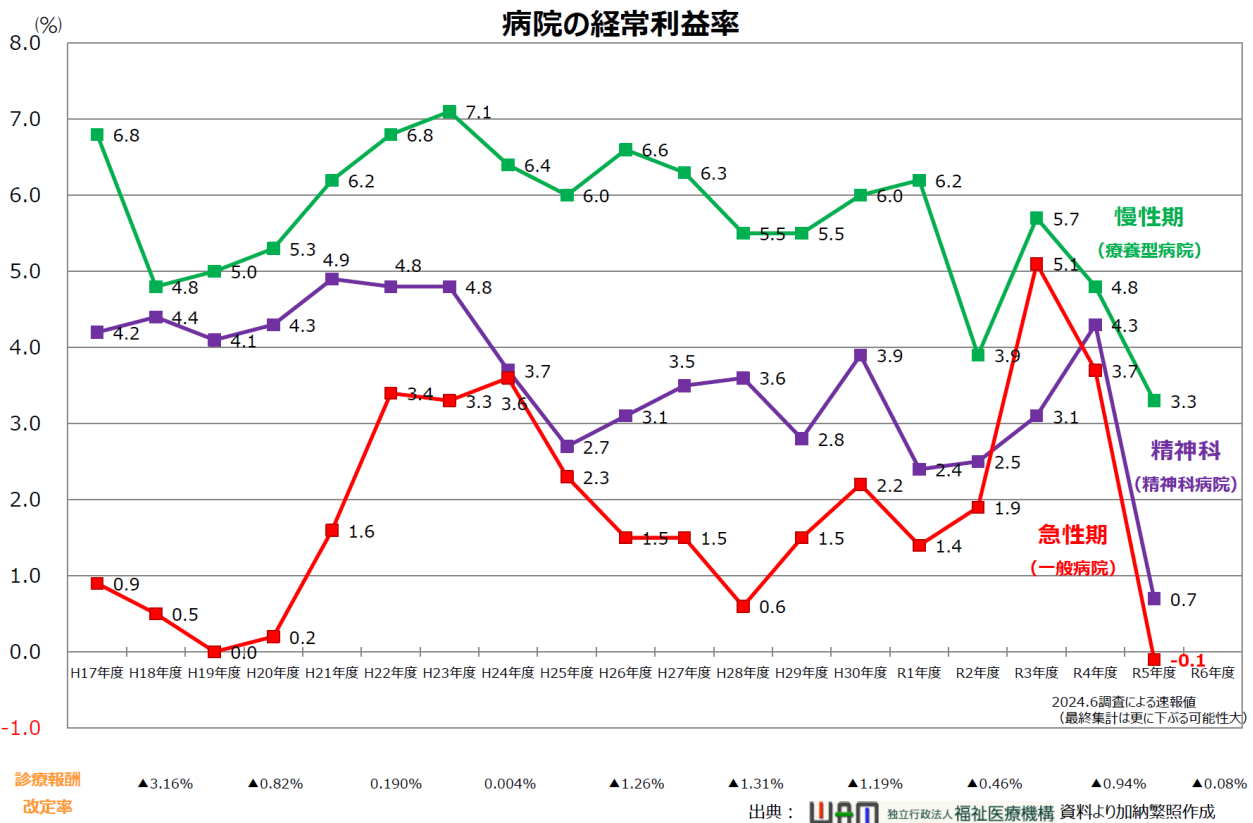
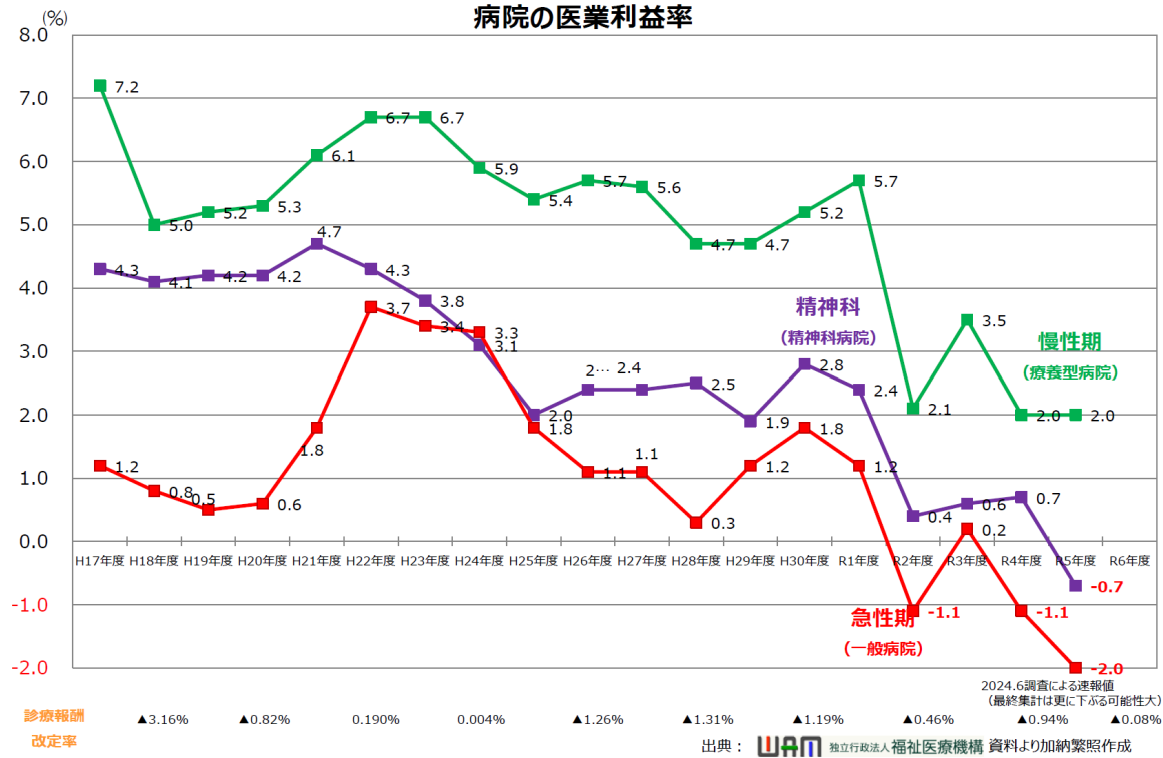


<まとめ>

- I. 医業損益の2年連続年度比較(2022年度/2023年度) 2023年度全病院の医業損益(稼働100床あたりの平均)で見ると、医業利益は**マイナス20,029万円**、経常利益は**マイナス3,412万円**、補助金を除く損益差額は**マイナス16,105万円**、コロナ関連の補助金を除く経常利益は**マイナス8,391万円**であり、全病院の平均経常利益は、2022年度プラス4.9%の黒字より2023年度**マイナス1.2%の赤字**となった。
- II. 医業損益の前年同月比較(2023年6月/2024年6月) 全病院の医業損益(稼働100床あたりの平均)で見ると、医業収益は前年比**マイナス0.1%**、医業費用は前年比**プラス0.9%**増となり、稼働100床当たり医療利益の**赤字幅は241万円**の拡大、医業外収益は**マイナス158万円**の減収、経常利益は**マイナス1,379万円**から**マイナス1,732万円**となり、**赤字幅は353万円**拡大していた。
- III. 2024年度は、診療報酬改定の影響もあり医業収益は前年比**マイナス0.1%**、コロナ関連緊急包括支援事業補助金、水道光熱費補助金は、減額ないしほぼゼロとなり、一方で給与費の負担増、物価高騰の影響で医業費用は、前年同月比較では、稼働100床あたり**プラス0.9%**増加していた。
- IV. 6年連続年度比較 医業利益、経常利益 年度比較では、100床あたりの医業利益・経常利益の比較では、2023年度はコロナ関連の補助金を除く経常利益を含めて**すべて赤字**であった。
- V. (※別添資料)WAM(福祉医療機構)「2024年6月調査病院の経営状況(速報値)について、WAM(福祉医療機構)調査では、2023年度の一般病院(急性期)医業利益率は**マイナス2.0%**、同じく一般病院(急性期)経常利益率は**マイナス0.1%**と悪化していた。

(※別添資料)

病院経営動向調査 (2024年6月調査)



2024 年度
病院経営定期調査
— 中間報告（集計結果） —

2024 年 9 月 17 日



一般社団法人 日本病院会



公益社団法人 全日本病院協会



一般社団法人 日本医療法人協会

目次

I. はじめに	3
II. 調査概要	4
III. 回答病院の属性	5
(1) 有効回答数の経年比較	5
IV. 集計結果とまとめ	6
V. 医業損益の2年連続比較	7
1. 年度比較 (2022年度/2023年度)	7
(1) 医業損益への影響 (全病院)	7
(2) 病床区分別の医業損益	9
(3) 開設主体別 医業損益	9
2. 医業損益の前年同月比較 (2023年6月/2024年6月)	10
(1) 医業損益への影響 (全病院)	10
(2) 病床区分別の医業損益	11
(3) 開設主体別 医業損益	11
VI. 6年連続比較《参考》	12
1. 延患者数、診療単価、診療収益 (新型コロナウイルス感染拡大による影響)	12
(1) 延患者数の対前年比 同月比較	12
(2) 一人一日あたりの診療収入 (単価) の対前年比 同月比較	12
(3) 一病院あたりの診療収益の対前年比	12
(4) 6年連続同月比較 医業利益、経常利益 (新型コロナウイルス感染拡大による影響)	13
2. 医業損益 (新型コロナウイルス感染拡大による影響) の年度比較	13
(1) 6年連続年度比較 医業利益、経常利益 年度比較	13
(2) 一病院あたりの損益	14
VII. 診療収益・診療単価・延患者数の前年同月比較 (2023年6月/2024年6月)	14
(1) 一病院あたりの診療収益の前年比	14
(2) 一人一日あたりの診療単価の前年比	15
(3) 延患者数の前年比	15
IX. 名簿	16

I. はじめに

日本病院会、全日本病院協会及び日本医療法人協会の3団体は、診療報酬改定が与える影響を調査・検証し、会員病院の運営に資するとともに次回改定に向けて医療政策が改善する資料として発信していくことを目的として合同で実施しています。

上記3団体では、病院における「診療の質」と「経営の質」を大きな柱として、様々な事業に取り組んでいます。なかでも、経営の質については経営指標となるデータの収集と分析、病院機能別の経営状況の把握、さらには病院経営に対する幅広い課題への対応に努めています。

働き方改革やコロナ禍の話題が下火になり、平常時の医療経営の話題が多く聞かれるようになりました。特に目立った話題として、人材確保、医療DX、諸物価の高騰などが挙げられ、なかでも労働生産人口の減少と転職しやすい社会環境の影響を受け、看護師等の人材不足が深刻な状況にあります。また、コロナ禍後の患者の受療行動に変化がみられ、地域によっては病院経営に大きな影響が生じている様子も見られます。

そのような環境下に置いて、地域医療構想の進展、労働時間の制約、人材不足、医療材料等の値上げといった病院経営の荒波を乗り越えていかなければなりません。不安定な経営環境下で方向性を誤ると経営が悪化する恐れも出てくることとなり、まさに気を緩めることができない状況にあります。

さて、病院団体合同調査ワーキンググループでは、会員病院にアンケートをお願いし寄せられたデータを分析検討しました。基本的には、昨年（2023年）と本年（2024年）の比較になります。ただし、2024年度診療報酬改定の時期が6月に後ろ倒しとされたことやコロナ禍の影響が残っていることから真の病院経営の実態が分かり難い結果となっていることは否めません。病院現場の実態を明らかにできるものとして、ここに調査の中間報告について結果を公表します。

ご多忙のところアンケートにご協力いただきました病院様、ご担当者の皆様にお礼申し上げます。

病院団体合同調査ワーキンググループ 委員長 島 弘志

II. 調査概要

- 調査目的：診療報酬改定が病院運営に与える影響を検証し、会員病院の運営に資することを目的とし、さらには安定的な病院運営が維持できる報酬設定を求めため、中央社会保険医療協議会や社会保障審議会等の協議の場に、その根拠となるデータを提示する。
- 調査方法：日本病院会、全日本病院協会及び日本医療法人協会に加盟する全病院に、診療収入等についてEメール又はFAX等による調査票配布により実施、回収を行った。
- 調査期間：2024年7月22日～8月30日※本中間報告書は、8月29日提出分までを集計。現在、9月27日まで回答期限延長中。
- 主な調査項目：2023年・2024年の各6月の診療収益、一人一日あたりの診療収入、延患者数、診療行為別点数、医業損益等の前年同月比較。2022年度～2023年度の医業損益等の通年比較等。
- 回答数：541病院（回答率：12.2%） 有効回答数：480病院
（会員数：4,443病院：2024年7月1日現在）

- 図表中の数値は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示している。このため、百分率の合計が100.0%にならないことがある。
- 有効回答として、診療収入、診療単価、延患者数の計算に必要な【1.基本情報】【2.施設基準、病院機能等】【3.患者統計、診療単価】がすべて入力されているものについて集計を実施した。なお、許可病床数の2023年6月1日/2024年6月1日比が20%以上の変動増減がある病院については、収益に直接的に影響の無いと考えられる設問のみ集計を実施した。また、医業損益に関する2023年、2024年の各6月期の月次比較および2022年度、2023年度の年度比較、あわせて新型コロナ感染拡大後の影響をみるために6年連続で2018年度～2023年度の年度損益比較、2019年～2024年の各6月の診療収益、診療収益（単価）、延患者数、月次損益比較について集計を実施した。
1.基本情報 2.施設基準、病院機能等 3.患者統計、診療単価 4.診療報酬点数行為別内訳
5.損益等 6.DPC/PDPSにおける医療機関別係数 7.令和6年度診療報酬改定項目について
8.令和6年度診療報酬改定に関するご意見、要望事項 等々
- 開設主体
国：厚生労働省 独立行政法人国立病院機構 国立大学法人 国立研究開発法人
独立行政法人労働者健康安全機構 独立行政法人地域医療機能推進機構
自治体：都道府県 市町村 地方独立行政法人
その他公的：日赤 済生会 北海道社会事業協会 厚生連 健康保険組合及びその連合会
国民健康保険組合 共済組合及びその連合会
医療法人：医療法人 特定医療法人 社会医療法人
その他私的：公益法人 私立学校法人 社会福祉法人 医療生協 会社 その他の法人 個人
- 病床区分
一般：一般病床80%以上
療養・ケアミックス：療養病床80%以上、または一般病床+療養病床が80%以上
精神：精神病床80%以上
その他：上記以外

Ⅲ. 回答病院の属性

(1) 有効回答数の経年比較

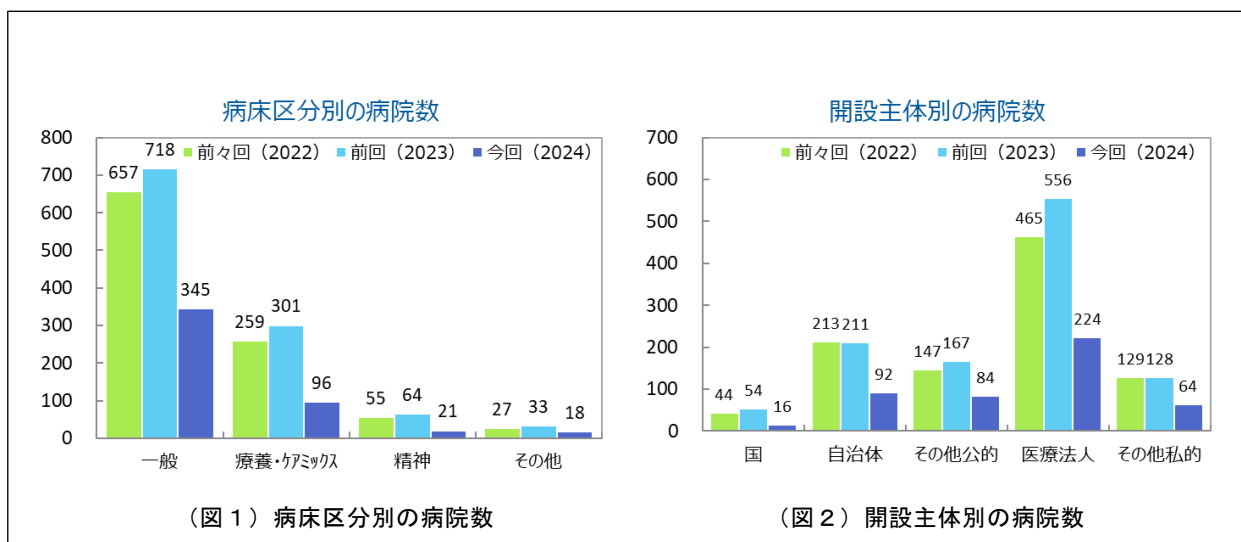
2024年度調査の全回答病院数は541病院、うち有効回答数(2024年8月29日現在)は480病院であった。実働病床数による病床規模別に有効回答数を2023年度及び2024年度調査と比較した病床規模別の回答数増減ではすべて減少し、全体では636病院の減少となった。病床規模別有効回答数の比較では、100～199床が30.4%と最も多くを占めた。(表1)。

(表1) 有効回答の病床規模別件数

	2022年度		2023年度		2024年度		前年度との比較	
	有効回答数	割合	有効回答数	割合	有効回答数	割合	回答数増減	増減比率
20～99床	146	14.6%	176	15.8%	68	14.2%	-108	-61.4%
100～199床	305	30.6%	354	31.7%	146	30.4%	-208	-58.8%
200～299床	150	15.0%	150	13.4%	77	16.0%	-73	-48.7%
300～399床	140	14.0%	165	14.8%	65	13.5%	-100	-60.6%
400～499床	100	10.0%	111	9.9%	46	9.6%	-65	-58.6%
500床～	157	15.7%	160	14.3%	78	16.3%	-82	-51.3%
合計	998	100.0%	1,116	100.0%	480	100.0%	-636	-57.0%

病床区別の割合では、一般が71.9%を占めており、続いて療養・ケアミックスが20.0%であった。(図1)。

開設主体別の割合では、医療法人が46.7%を占め、次に自治体、その他公的と続いた。それら3つの合計は全体の83.3%を占めていた(図2)。



IV. 集計結果とまとめ

新型コロナウイルス感染症が拡大した 2019 年度から 2022 年度、5 類移行が行われた 2023 年度以降の病院経営の実態を把握するため、医業損益の調査項目として、2022 年、2023 年に引き続き「コロナ関連 緊急包括支援事業 入金額／補助金」ならびに「コロナ関連の補助金を除く経常利益」を加え、2023 年と同様に水道光熱費の内訳として電気・ガス料金等を再掲科目とした。また、今回は医療人材確保のための「紹介会社へ支払う紹介手数料・委託料」を新たに別掲に加えて集計を実施した。

2022 年度、23 年度の医業損益比較では、全病院の医業損益の年度比較では、医業収益の伸びは +3.0%、医業費用 +2.5%により、2023 年度の医業利益は赤字額がわずかに減じたが、経常利益は医業外収益の大幅な減収により、2022 年度の黒字から赤字に転じていた。

2023 年 6 月/24 年 6 月の前年同月比較をみると、医業収益 -0.1%、医業費用 +0.9%となり、医業利益、経常利益ともに 2 期赤字・減益となった。医業収益の内訳では、外来診療収入が -3.9%の減収であった。

近年の経営調査では増収減益傾向が続いていたが、2024 年度は減収減益傾向に転じることも想定され、2024 年度診療報酬改定の影響、働き方改革による人件費の負担増、さらには材料費（医薬品、診療材料、給食材料等）の高騰等々とあわせて病院経営はさらに厳しさを増し、病院運営の大きな転換点を迎えたといえる。

また参考として、2018 年度～23 年度の 6 年連続年度比較について追跡調査をみると、医業利益の赤字病院割合は 20 年度の 86.4%、21 年度は 68.2%に減少したが、23 年度には再び 86.4%に拡大し、経常利益の黒字病院割合では、21 年度 90.9%、22 年度は 86.4%まで増加したが、23 年度は 43.2%に減少していた。コロナ関連の補助金を除く黒字病院割合との比較では、それぞれ 21 年度 50.0%、22 年度 22.7%と大きく減少し、23 年度は補助金の減少により 9.1 ポイント減の 34.1%となっていた。

《医業損益に関する調査結果》

* 年度比較（2022 年度／2023 年度）稼働 100 床当たり

- ▼ 医業利益 -20,978 万円 から -20,029 万円に若干縮小した。
- ▼ 経常利益 13,435 万円から-3,412 万円 に黒字から赤字に転じ、コロナ関連の補助金を除くと-8,718 万円から-8,391 万円に赤字が縮小した。
- ◆ 医業利益 赤字病院の割合 76.0%から 74.7%に 1.3 ポイント減少した。
- ◆ 経常利益 赤字病院の割合 22.7%から 51.0%に 28.3 ポイント増加した。コロナ関連の補助金を除くと 63.1%から 64.9%に 1.8 ポイント増加した。

*** 前年同月比較 (2023年6月/2024年6月) 稼働100床当たり**

- ▼ 医業利益 -1,939万円 から -2,180万円 に赤字が拡大した。
- ▼ 経常利益 -1,379万円から -1,732万円に赤字が拡大した。コロナ関連の補助金を除くと-1,491万円から-1,735万円に赤字が拡大した。
- ◆ 医業利益 赤字病院の割合 68.6%から 69.6%に 1.0ポイント増加した。
- ◆ 経常利益 赤字病院の割合 61.5%から 65.0%に 3.5ポイント増加した。コロナ関連の補助金を除くと 64.0%から 65.0%に 1.0ポイント増加した。

V. 医業損益の2年連続比較

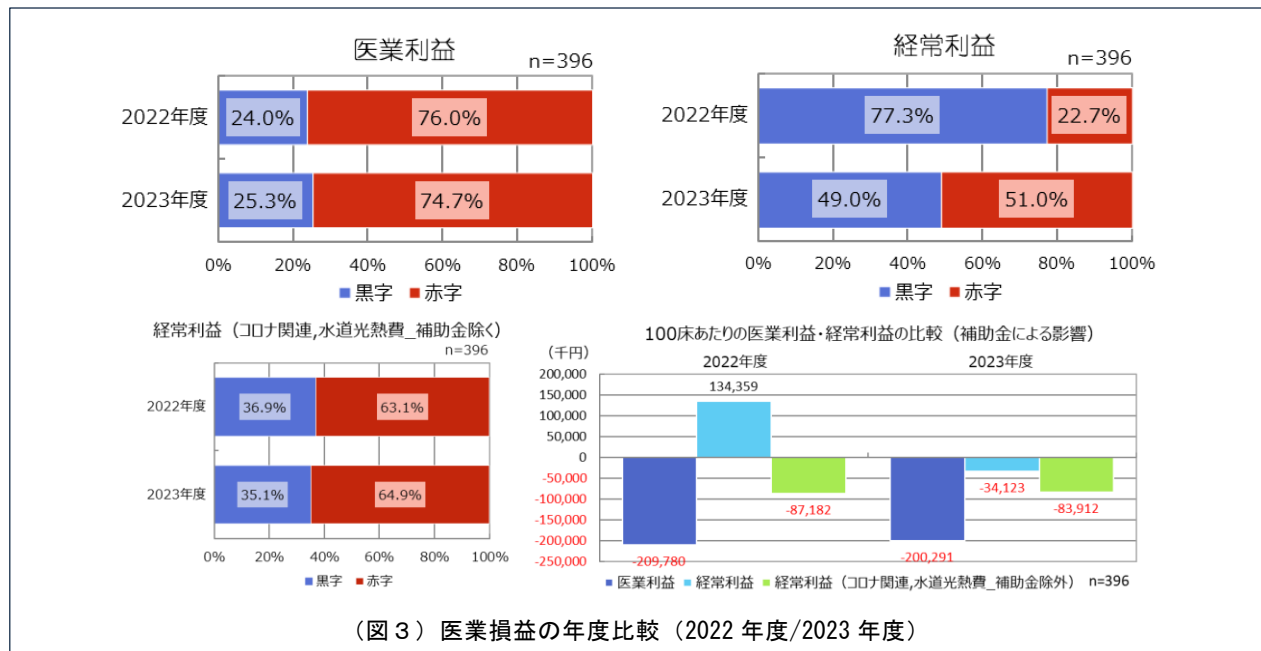
1. 年度比較 (2022年度/2023年度)

(1) 医業損益への影響 (全病院)

医業利益における赤字病院割合は、2022年度の76.0%から2023年度は74.7%に1.3ポイント減少していた。経常利益は2022年度の黒字病院割合が77.3%に対して、赤字病院割合が2022年度22.7%から2023年度51.0%に28.3ポイント増加していた。コロナ関連の補助金を除く経常利益の赤字病院割合では、それぞれ63.1%、64.9%へ増加していた。

2022年度の100床あたり医業利益が-20,978万円の赤字に対して、経常利益は+13,435万円の黒字に転じ、コロナ関連の補助金を除く経常利益では-8,718万円の赤字であった。

2023年度は医業利益-20,029万円、経常利益-3,412万円、コロナ関連の補助金を除く経常利益-8,391万円となり、2022年度は黒字であった経常利益は赤字に転じた (図3)。



(図3) 医業損益の年度比較 (2022年度/2023年度)

全病院の医業損益の年度比較では、医業収益の伸びは+3.0%、医業費用+2.5%により、2023年度の医業利益は前年よりわずかに赤字が縮小し、経常利益は医業外収益の大幅な減収により、2022年度の黒字から赤字に転じた。

2023年度の全病院の稼働100床当たりの医業利益が-20,029万円、経常利益は-3,412万円、補助金を除く損益差額は-16,105万円、コロナ関連の補助金を除く経常利益は-8,391万円であった。なお、コロナ関連緊急包括支援事業補助金額は2022年21,922万円より2023年4,677万円へと大きく減少していた。また、人材紹介会社へ支払う紹介手数料・委託料は、全病院の100床あたりの平均で2023年503万円、2024年441万円であった。(表2)。

科目 (単位：千円)	全病院 (n=396) 平均病床数：303				2023年度 黒字病院 (n=194) 平均病床数：290				2023年度 赤字病院 (n=202) 平均病床数：317			
	2022年度	2023年度	差引増減	前年比	2022年度	2023年度	差引増減	前年比	2022年度	2023年度	差引増減	前年比
①医業収益	2,735,569	2,817,369	81,800	3.0%	2,717,903	2,814,316	96,413	3.5%	2,751,086	2,820,051	68,965	2.5%
②医業費用	2,945,349	3,017,661	72,312	2.5%	2,791,808	2,859,654	67,846	2.4%	3,080,209	3,156,443	76,234	2.5%
③医業利益 (①-②)	-209,780	-200,291	9,488		-73,905	-45,338	28,567		-329,123	-336,392	-7,270	
④医業外収益	394,963	217,538	-177,424	-44.9%	305,230	174,305	-130,925	-42.9%	473,778	255,511	-218,266	-46.1%
⑤医業外費用	50,824	51,370	546	1.1%	34,363	34,709	347	1.0%	65,282	66,003	721	1.1%
⑥経常利益 (③+④)-(②+⑤)	134,359	-34,123	-168,482		196,962	94,258	-102,704		79,373	-146,883	-226,257	
コロナ関連、水道光熱費の補助金を除く 経常利益 (⑥-(⑦+⑧))	-87,182	-83,912	3,271		19,784	39,931	20,147		-181,135	-192,687	-11,553	
医業利益率 (③÷①)	-7.7%	-7.1%			-2.7%	-1.6%			-12.0%	-11.9%		
経常利益率 (⑥÷①)	4.9%	-1.2%			7.2%	3.3%			2.9%	-5.2%		
※1 補助金 (運営・施設・その他)	282,201	126,936	-155,265	-55.0%	229,882	109,179	-120,703	-52.5%	328,155	142,532	-185,623	-56.6%
※2 補助金を除く医業外収益 (④-※1)	112,761	90,603	-22,159	-19.7%	75,348	65,126	-10,222	-13.6%	145,623	112,980	-32,643	-22.4%
※3 損益差額 (③+※2-⑤)	-147,842	-161,058	-13,217		-32,920	-14,922	17,998		-248,782	-289,415	-40,634	
⑦コロナ関連 緊急包括支援事業 補助金	219,227	46,772			174,906	51,634			258,156	42,502		
⑧水道光熱費 補助金	2,314	3,017			2,272	2,692			2,352	3,302		
⑨人材紹介会社へ支払う紹介手数料・委託料	5,039	4,414			6,516	3,832			3,741	4,926		

(表2) 全病院の医業損益・100床あたりの平均

また、医業収益の内訳では、入院診療収入+3.5%、外来診療収入+2.3%であった。その他医業収入が全病院、黒字・赤字病院群の全区分で共通して減収となった。また、全病院の医業外収益は-44.9%の減収、そのうち運営費補助金が-52.9%で減収額が最も大きく、黒字・赤字病院群もほぼ同様の結果であった。全病院の医業費用+2.5%の内訳では、材料費、給与費、委託費、設備関係費の順に増加し、経費は水道光熱費の減少により減少した。材料費+6.1%の内訳では医薬品費+7.0%の伸びが大きかった(表3)。

科目 (単位：千円)	全病院 (n=396) 平均病床数：303				2023年度 黒字病院 (n=194) 平均病床数：290				2023年度 赤字病院 (n=202) 平均病床数：317			
	2022年度	2023年度	差引増減	前年比	2022年度	2023年度	差引増減	前年比	2022年度	2023年度	差引増減	前年比
①医業収益	2,735,569	2,817,369	81,800	3.0%	2,717,903	2,814,316	96,413	3.5%	2,751,086	2,820,051	68,965	2.5%
入院診療収入	1,774,907	1,836,775	61,868	3.5%	1,769,958	1,840,666	70,707	4.0%	1,779,254	1,833,358	54,105	3.0%
室料差額収益	36,739	39,213	2,474	6.7%	39,940	42,283	2,343	5.9%	33,927	36,516	2,589	7.6%
外来診療収入	844,045	863,286	19,241	2.3%	826,776	852,349	25,573	3.1%	859,213	872,892	13,680	1.6%
その他医業収入	79,879	78,095	-1,784	-2.2%	81,229	79,019	-2,210	-2.7%	78,693	77,284	-1,409	-1.8%
②医業費用	2,945,349	3,017,661	72,312	2.5%	2,791,808	2,859,654	67,846	2.4%	3,080,209	3,156,443	76,234	2.5%
材料費	815,429	865,495	50,066	6.1%	808,730	866,731	58,001	7.2%	821,312	864,409	43,096	5.2%
医薬品費 (再掲)	495,102	529,663	34,561	7.0%	494,778	535,917	41,139	8.3%	495,387	524,169	28,782	5.8%
診療材料費 (再掲)	295,491	309,515	14,024	4.7%	283,172	297,001	13,828	4.9%	306,311	320,508	14,197	4.6%
給与費	1,436,429	1,453,910	17,481	1.2%	1,339,299	1,351,231	11,932	0.9%	1,521,742	1,544,098	22,355	1.5%
委託費	205,610	211,519	5,909	2.9%	181,208	184,706	3,499	1.9%	227,044	235,070	8,026	3.5%
設備関係費	256,263	260,729	4,466	1.7%	244,605	246,827	2,222	0.9%	266,502	272,940	6,438	2.4%
減価償却費 (再掲)	171,675	172,941	1,265	0.7%	157,197	156,115	-1,082	-0.7%	184,393	187,719	3,327	1.8%
研究研修費	6,705	7,982	1,277	19.0%	6,208	7,400	1,192	19.2%	7,142	8,494	1,352	18.9%
経費	167,388	162,749	-4,639	-2.8%	156,381	151,275	-5,106	-3.3%	177,056	172,827	-4,229	-2.4%
水道光熱費 (再掲)	62,493	55,216	-7,277	-11.6%	57,488	50,638	-6,851	-11.9%	66,889	59,237	-7,652	-11.4%
電気料金	37,932	33,653	-4,279	-11.3%	33,722	30,107	-3,615	-10.7%	41,629	36,767	-4,863	-11.7%
ガス料金	14,076	11,072	-3,004	-21.3%	13,907	10,821	-3,086	-22.2%	14,224	11,292	-2,932	-20.6%
その他の水道光熱費	10,485	10,492	6	0.1%	9,859	9,710	-149	-1.5%	11,036	11,179	143	1.3%
控除対象外消費税等負担額	44,748	44,455	-293	-0.7%	39,891	40,729	838	2.1%	49,014	47,728	-1,286	-2.6%
本部費配賦額	12,777	10,821	-1,956	-15.3%	15,487	10,755	-4,731	-30.6%	10,397	10,799	402	4.6%
④医業外収益	394,963	217,538	-177,424	-44.9%	305,230	174,305	-130,925	-42.9%	473,778	255,511	-218,266	-46.1%
運営費補助金 (再掲)	196,418	92,458	-103,959	-52.9%	148,933	79,714	-69,219	-46.5%	238,125	103,653	-134,472	-56.5%
施設設備補助金 (再掲)	13,569	11,441	-2,128	-15.7%	11,009	8,547	-2,462	-22.4%	15,817	13,983	-1,834	-11.6%
その他補助金 (再掲)	72,215	23,036	-49,179	-68.1%	69,940	20,919	-49,022	-70.1%	74,212	24,895	-49,317	-66.5%

(表3) 全病院の医業損益の内訳・100床あたりの平均

(2) 病床区分別の医業損益

病床区分別の年度比較では、医業利益では精神を除く病床区分で2期赤字・増益であった。経常利益では一般は黒字から赤字に転じ、療養・ケアミックスが2期黒字・減益であった。

2023年度の一般における稼働100床あたり医業利益が-23,769万円の赤字に対して、経常利益は-4,462万円、損益差額は-19,549万円、コロナ関連の補助金を除く経常利益は-10,178万円であった。なお、コロナ関連緊急包括支援事業補助金額は5,401万円、前年比で20.9%に減少していた。(表4)。

科目 (単位：千円)	一般 (n=289) 平均病床数：337				療養・ケアミックス (n=73) 平均病床数：174				精神 (n=19) 平均病床数：274				その他 (n=15) 平均病床数：331			
	2022年度	2023年度	差引増減	前年比	2022年度	2023年度	差引増減	前年比	2022年度	2023年度	差引増減	前年比	2022年度	2023年度	差引増減	前年比
①医業収益	3,102,434	3,202,670	100,236	3.2%	1,349,346	1,352,759	3,413	0.3%	664,059	662,194	-1,865	-0.3%	1,271,752	1,280,902	9,150	0.7%
②医業費用	3,351,459	3,440,362	88,903	2.7%	1,383,302	1,382,987	-315	-0.0%	653,991	657,214	3,223	0.5%	1,393,539	1,399,291	5,752	0.4%
③医業利益 (①-②)	-249,024	-237,692	11,332		-33,956	-30,227	3,728		10,068	4,980	-5,088		-121,788	-118,389	3,399	
④医業外収益	462,902	252,944	-209,958	-45.4%	116,609	65,662	-50,947	-43.7%	28,759	37,586	8,828	30.7%	160,981	101,626	-59,355	-36.9%
⑤医業外費用	59,064	59,873	809	1.4%	17,344	15,117	-2,227	-12.8%	10,605	15,319	4,714	44.4%	17,317	15,443	-1,874	-10.8%
⑥経常利益 (③+④)-(⑤)	154,813	-44,621	-199,434		65,309	20,317	-44,992		28,221	27,247	-974		21,877	-32,206	-54,083	
コロナ関連 水道光熱費の補助金を除く 経常利益 (⑥-(⑦+⑧))	-105,589	-101,787	3,802		-4,438	-1,158	3,280		21,006	21,646	640		-51,948	-56,347	-4,398	
経常利益率 (③+④)÷①	-8.0%	-7.4%			-2.5%	-2.2%			1.5%	0.8%			-9.6%	-9.2%		
経常利益率 (⑥+④)÷①	5.0%	-1.4%			4.8%	1.5%			4.2%	4.1%			1.7%	-2.5%		
※1 補助金 (運営・施設・その他)	335,655	150,869	-184,786	-55.1%	74,363	30,005	-44,357	-59.7%	9,778	13,721	3,944	40.3%	53,107	25,089	-28,018	-52.8%
※2 補助金を除く医業外収益 (④-※1)	127,248	102,075	-25,172	-19.8%	42,246	35,657	-6,590	-15.6%	18,981	23,865	4,884	25.7%	107,875	76,537	-31,338	-29.1%
※3 損益差額 (③+※2-⑤)	-180,841	-195,490	-14,649		-9,053	-9,688	-634		18,444	13,526	-4,918		-31,230	-57,295	-26,065	
⑦コロナ関連 緊急包括支援事業 補助金	257,974	54,011			67,864	18,991			4,943	2,799			72,587	22,240		
⑧水道光熱費 補助金	2,428	3,155			1,883	2,484			2,272	2,802			1,238	1,900		
⑨人材紹介会社へ支払う紹介手数料・委託料	4,678	4,439			11,113	6,545			268	1,289			1,560	1,754		

(表4) 病床区分別の医業損益・100床あたりの平均

(3) 開設主体別 医業損益

開設主体別の医業損益比較では、医業収益の増収割合は自治体の+4.1%が最も高く、次いでその他私的の+3.7%であった。

科目 (単位：千円)	国 (n=13) 平均病床数：416				自治体 (n=82) 平均病床数：390				その他公的 (n=71) 平均病床数：407			
	2022年度	2023年度	差引増減	前年比	2022年度	2023年度	差引増減	前年比	2022年度	2023年度	差引増減	前年比
①医業収益	3,065,204	3,135,292	70,088	2.3%	2,919,474	3,038,948	119,474	4.1%	3,263,046	3,338,058	75,011	2.3%
②医業費用	3,338,742	3,392,195	53,452	1.6%	3,397,406	3,501,981	104,575	3.1%	3,382,260	3,464,947	82,687	2.4%
③医業利益 (①-②)	-273,538	-256,902	16,636		-477,932	-463,033	14,899		-119,213	-126,889	-7,676	
④医業外収益	569,828	373,643	-196,186	-34.4%	660,634	418,946	-241,688	-36.6%	386,221	168,381	-217,840	-56.4%
⑤医業外費用	168,805	147,321	-21,483	-12.7%	80,363	81,032	669	0.8%	47,364	44,070	-3,293	-7.0%
⑥経常利益 (③+④)-(⑤)	127,486	-30,581	-158,066		102,339	-125,119	-227,458		219,644	-2,578	-222,222	
コロナ関連 水道光熱費の補助金を除く 経常利益 (⑥-(⑦+⑧))	-130,909	-83,906	47,003		-187,290	-175,369	11,921		-57,173	-63,826	-6,653	
経常利益率 (③+④)÷①	-8.9%	-8.2%			-16.4%	-15.2%			-3.7%	-3.8%		
経常利益率 (⑥+④)÷①	4.2%	-1.0%			3.5%	-4.1%			6.7%	-0.1%		
※1 補助金 (運営・施設・その他)	370,236	162,179	-208,057	-56.2%	426,557	234,312	-192,245	-45.1%	336,294	125,767	-210,527	-62.6%
※2 補助金を除く医業外収益 (④-※1)	199,592	211,464	11,872	5.9%	234,077	184,634	-49,443	-21.1%	49,927	42,614	-7,313	-14.6%
※3 損益差額 (③+※2-⑤)	-242,750	-192,759	49,991		-324,217	-359,431	-35,213		-116,650	-128,345	-11,695	
⑦コロナ関連 緊急包括支援事業 補助金	255,621	50,615			287,146	47,412			274,243	57,560		
⑧水道光熱費 補助金	2,774	2,710			2,483	2,838			2,575	3,687		
⑨人材紹介会社へ支払う紹介手数料・委託料	408	1,348			9,757	3,203			503	755		

科目 (単位：千円)	医療法人 (n=181) 平均病床数：203				その他私的 (n=49) 平均病床数：349			
	2022年度	2023年度	差引増減	前年比	2022年度	2023年度	差引増減	前年比
①医業収益	1,872,539	1,911,424	38,885	2.1%	3,249,297	3,367,965	118,668	3.7%
②医業費用	1,912,885	1,945,918	33,033	1.7%	3,454,227	3,538,977	84,749	2.5%
③医業利益 (①-②)	-40,346	-34,494	5,852		-204,930	-171,011	33,919	
④医業外収益	156,576	68,163	-88,413	-56.5%	369,407	195,264	-174,143	-47.1%
⑤医業外費用	18,527	20,695	2,168	11.7%	33,442	43,732	10,291	30.8%
⑥経常利益 (③+④)-(⑤)	97,703	12,973	-84,729		131,035	-19,479	-150,515	
コロナ関連 水道光熱費の補助金を除く 経常利益 (⑥-(⑦+⑧))	-16,490	-15,801	689		-88,617	-93,052	-4,435	
経常利益率 (③+④)÷①	-2.2%	-1.8%			-6.3%	-5.1%		
経常利益率 (⑥+④)÷①	5.2%	0.7%			4.0%	-0.6%		
※1 補助金 (運営・施設・その他)	115,018	36,546	-78,472	-68.2%	251,954	111,028	-140,926	-55.9%
※2 補助金を除く医業外収益 (④-※1)	41,558	31,617	-9,941	-23.9%	117,454	84,236	-33,217	-28.3%
※3 損益差額 (③+※2-⑤)	-17,315	-23,572	-6,257		-120,918	-130,507	-9,589	
⑦コロナ関連 緊急包括支援事業 補助金	112,310	26,359			217,311	69,964		
⑧水道光熱費 補助金	1,883	2,415			2,241	3,608		
⑨人材紹介会社へ支払う紹介手数料・委託料	5,374	5,075			4,622	12,416		

(表5) 開設主体別の医業損益・100床あたりの平均

医業利益の比較では、すべての開設主体で2期赤字であった。医業外収益がすべての開設主体で大きく減収し、経常利益では、すべての開設主体で減益となり、医療法人が2期黒字・減益、そ

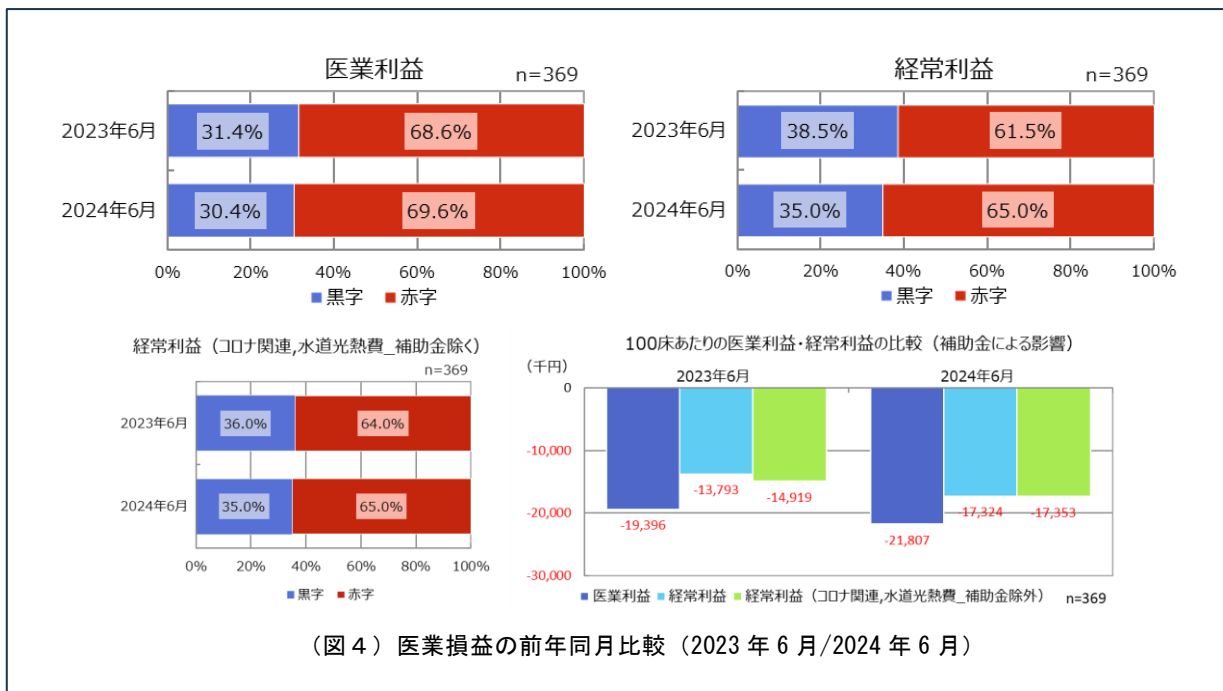
他の開設主体が黒字から赤字に転じた。

損益差額では、国を除き 2 期赤字・減益、コロナ関連の補助金を除く経常利益では、その他公的、その他私的が 2 期赤字・減益であった。(表 5)。

2. 医業損益の前年同月比較 (2023 年 6 月/2024 年 6 月)

(1) 医業損益への影響 (全病院)

医業利益の前年同月比較では、赤字病院割合は 2023 年 6 月期の 68.6%から 2024 年 6 月期には 69.6%へと増加し、経常利益では、赤字病院割合が 61.5%から 65.0%へと 3.5 ポイント増加していた。100 床あたりの医業損益では、2024 年 6 月期で医業利益-2,180 万円、経常利益-1,732 万円であり、コロナ補助金を除く経常利益は-1,735 万円であった (図 4)。



全病院の医業収益は前年比-0.1%、医業費用は+0.9%となり、稼働 100 床あたりの医業利益の赤字額は 241 万円の増加、医業外収益は 158 万円の減収、経常利益は-1,379 万円から-1,732 万円になり赤字額は 353 万円増加していた (表 6)。

科目 (単位: 千円)	全病院 (n=369) 平均病床数: 280				2024年6月 黒字病院 (n=129) 平均病床数: 210				2024年6月 赤字病院 (n=240) 平均病床数: 318			
	2023年6月	2024年6月	差引増減	前年比	2023年6月	2024年6月	差引増減	前年比	2023年6月	2024年6月	差引増減	前年比
① 医業収益	218,533	218,352	-181	-0.1%	184,968	190,490	5,521	3.0%	230,471	228,262	-2,209	-1.0%
② 医業費用	237,930	240,159	2,230	0.9%	185,002	186,391	1,389	0.8%	256,754	259,282	2,529	1.0%
③ 医業利益 (①-②)	-19,396	-21,807	-2,411		-34	4,098	4,132		-26,283	-31,021	-4,738	
④ 医業外収益	7,834	6,250	-1,584	-20.2%	6,686	4,843	-1,843	-27.6%	8,242	6,751	-1,491	-18.1%
⑤ 医業外費用	2,230	1,767	-463	-20.8%	2,773	1,033	-1,740	-62.7%	2,037	2,028	-9	-0.4%
⑥ 経常利益 ((①+④) - (②+⑤))	-13,793	-17,324	-3,532		3,880	7,908	4,029		-20,078	-26,298	-6,221	
コロナ関連、水道光熱費の補助金を除く 経常利益 (⑥ - (⑦+⑧))	-14,919	-17,353	-2,434		2,212	7,847	5,635		-21,012	-26,315	-5,303	
医業利益率 (③÷①)	-8.9%	-10.0%			-0.0%	2.2%			-11.4%	-13.6%		
経常利益率 (⑥÷①)	-6.3%	-7.9%			2.1%	4.2%			-8.7%	-11.5%		
⑦ コロナ関連 緊急包括支援事業 入金額	1,067	3			1,623	6			870	2		
⑧ 水道光熱費関連補助金 入金額	59	25			45	55			64	15		

(表 6) 全病院の医業損益・100 床あたりの平均

(2) 病床区分別の医業損益

病床区分別の医業損益の前年同月比較では、一般病院の医業収益は前年比-0.2%、医業費用+1.0%の増加となり、医業利益、経常利益の赤字幅は増加した。2024年6月期の医業利益は-2,715万円、経常利益は-2,168万円であった。

療養+ケアミックスでは医業利益、経常利益の赤字幅は減少し、精神では医業利益、経常利益の黒字幅が減少、その他は医業利益、経常利益の赤字幅が増加した(表7)。

科目 (単位:千円)	一般 (n=258) 平均病床数: 310				療養・ケアミックス (n=79) 平均病床数: 174				精神 (n=16) 平均病床数: 273				その他 (n=16) 平均病床数: 322			
	2023年6月	2024年6月	差引増減	前年比	2023年6月	2024年6月	差引増減	前年比	2023年6月	2024年6月	差引増減	前年比	2023年6月	2024年6月	差引増減	前年比
①医業収益	253,594	253,070	-525	-0.2%	109,277	112,025	2,748	2.5%	54,712	53,972	-740	-1.4%	103,772	101,594	-2,178	-2.1%
②医業費用	277,515	280,223	2,708	1.0%	114,392	115,337	945	0.8%	52,631	52,350	-282	-0.5%	109,130	109,478	348	0.3%
③医業利益 (①-②)	-23,920	-27,153	-3,233		-5,115	-3,312	1,804		2,081	1,622	-459		-5,358	-7,884	-2,526	
④医業外収益	9,304	7,453	-1,851	-19.9%	2,490	1,967	-523	-21.0%	1,675	1,804	129	7.7%	4,462	2,748	-1,714	-38.4%
⑤医業外費用	2,630	1,983	-647	-24.6%	844	909	66	7.8%	252	1,003	751	298.6%	1,397	1,347	-50	-3.5%
⑥経常利益 ((①+④)-(②+⑤))	-17,247	-21,684	-4,437		-3,469	-2,254	1,214		3,504	2,423	-1,080		-2,293	-6,483	-4,191	
コロナ関連、水道光熱費の補助金を除く 経常利益 ((⑥)-(⑦+⑧))	-18,508	-21,694	-3,186		-4,135	-2,393	1,742		3,021	2,380	-640		-3,099	-6,483	-3,385	
医業利益率 (③÷①)	-9.4%	-10.7%			-4.7%	-3.0%			3.8%	3.0%			-5.2%	-7.8%		
経常利益率 (⑥÷①)	-6.8%	-8.6%			-3.2%	-2.0%			6.4%	4.5%			-2.2%	-6.4%		
⑦コロナ関連 緊急包括支援事業 入金額	1,244	1			473	9			9	32			806	0		
⑧水道光熱費関連補助金 入金額	18	10			193	130			475	11			0	0		

(表7) 病床区分別の医業損益・100床あたりの平均

(3) 開設主体別 医業損益

開設主体別の医業損益の前年同月比較では、すべての開設主体で医業利益が2期赤字となっていた。経常利益についてもすべての開設主体で2期赤字となっていた。

2024年6月の医業利益の赤字額では自治体の-5,434万円が最大で、経常利益は自治体の-4,040万円が赤字額の最大であった。

医業収益は私的開設主体(医療法人、その他私的)が増収、公的開設主体(国、自治体、その他公的)が減収であった。医業費用は自治体の前年比+2.7%が最も増加し、医業外収益はすべての開設主体で減収していた。(表8)。

科目 (単位:千円)	国 (n=14) 平均病床数: 365				自治体 (n=61) 平均病床数: 357				その他公的 (n=60) 平均病床数: 390				医療法人 (n=186) 平均病床数: 199				その他私的 (n=48) 平均病床数: 335			
	2023年6月	2024年6月	差引増減	前年比	2023年6月	2024年6月	差引増減	前年比	2023年6月	2024年6月	差引増減	前年比	2023年6月	2024年6月	差引増減	前年比	2023年6月	2024年6月	差引増減	前年比
①医業収益	240,408	233,235	-7,173	-3.0%	249,747	247,799	-1,948	-0.8%	265,471	264,749	-722	-0.3%	151,877	153,938	2,061	1.4%	253,975	254,051	76	0.0%
②医業費用	259,566	257,587	-1,979	-0.8%	294,288	302,143	7,855	2.7%	285,954	284,039	-1,915	-0.7%	156,569	158,188	1,619	1.0%	271,534	274,912	3,378	1.2%
③医業利益 (①-②)	-19,158	-24,352	-5,194		-44,542	-54,344	-9,803		-20,483	-19,290	1,193		-4,692	-4,250	441		-17,559	-20,860	-3,301	
④医業外収益	4,152	3,596	-556	-13.4%	18,504	15,833	-2,671	-14.4%	5,918	5,162	-756	-12.8%	3,266	2,378	-888	-27.2%	7,816	4,576	-3,240	-41.5%
⑤医業外費用	2,367	2,115	-252	-10.6%	2,153	1,890	-264	-12.3%	2,592	2,756	165	6.3%	1,245	1,383	138	11.1%	4,028	933	-3,095	-76.8%
⑥経常利益 ((①+④)-(②+⑤))	-17,373	-22,871	-5,498		-28,191	-40,401	-12,210		-17,157	-16,885	272		-2,671	-3,255	-584		-13,771	-17,218	-3,446	
コロナ関連、水道光熱費の補助金を除く 経常利益 ((⑥)-(⑦+⑧))	-17,385	-22,871	-5,486		-28,856	-40,401	-11,545		-17,936	-16,902	1,033		-3,680	-3,323	357		-16,654	-17,219	-565	
医業利益率 (③÷①)	-8.0%	-10.4%			-17.8%	-21.9%			-7.7%	-7.3%			-3.1%	-2.8%			-6.9%	-8.2%		
経常利益率 (⑥÷①)	-7.2%	-9.8%			-11.3%	-16.3%			-6.5%	-6.4%			-1.8%	-2.1%			-5.4%	-6.8%		
⑦コロナ関連 緊急包括支援事業 入金額	11	0			664	0			679	0			918	8			2,858	1		
⑧水道光熱費関連補助金 入金額	0	0			1	0			100	17			92	60			24	0		

(表8) 開設主体別の医業損益・100床あたりの平均

VI. 6年連続比較《参考》

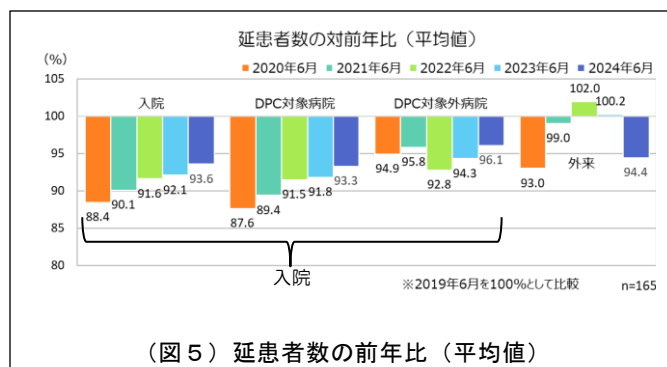
1. 延患者数、診療単価、診療収益（新型コロナウイルス感染拡大による影響）

(2019年6月/2020年6月/2021年6月/2022年6月/2023年6月/2024年6月)

(1) 延患者数の対前年比 同月比較

延患者数についてコロナ前の2019年6月を100%とした6年連続の同月比較では、全体の入院患者数は2020年6月は対前年比88.4%に落ち込んだが、2024年に93.6%へと年々わずかに増加していた。DPC対象別では、DPC対象病院は全入院とほぼ同様の傾向であった。DPC対象外は、95%前後で推移していたが、2022年のみ92.8%であった。

外来患者数は2020年6月の93.0%から2022年102.0%へと増加したが、2024年には94.4%に減少していた。(図5)。

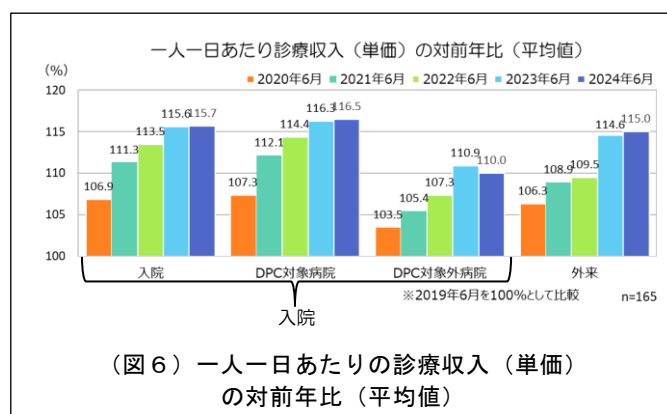


(図5) 延患者数の前年比（平均値）

(2) 一人一日あたりの診療収入（単価）の対前年比 同月比較

診療単価について2019年6月期を100%とした6年連続の同月比較では、入院単価は概ね年々増加していた。入院全体では2023年115.6%、2024年115.7%であった。DPC対象病院も同様にそれぞれ116.3%、116.5%であった。

外来単価は、2020年の106.3%から2023年114.6%、2024年には115.0%へと増加していた。(図6)。



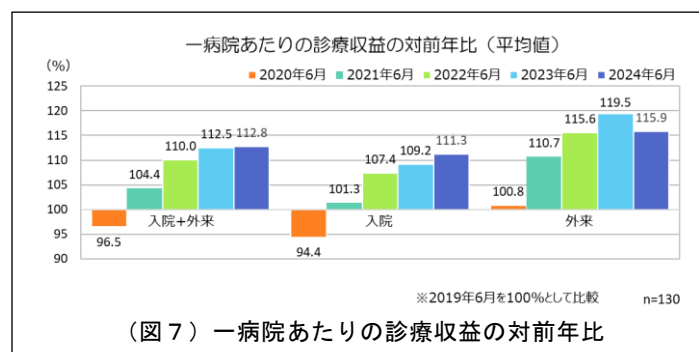
(図6) 一人一日あたりの診療収入（単価）の対前年比（平均値）

(3) 一病院あたりの診療収益の対前年比

診療収益について2019年6月期を100%とした6年連続の同月比較では、入院+外来収益では2020年に減収となったが、2021年以降は増収に転じ、2023年は112.5%、2024年112.8%であった。

入院収益は、2020年に94.4%であったが、2022年109.2%、2024年には111.3%へと増加していた。

外来収益は、2020年100.8%から2021年110.7%に、2023年は119.5%、2024年115.9%であった。(図7)。

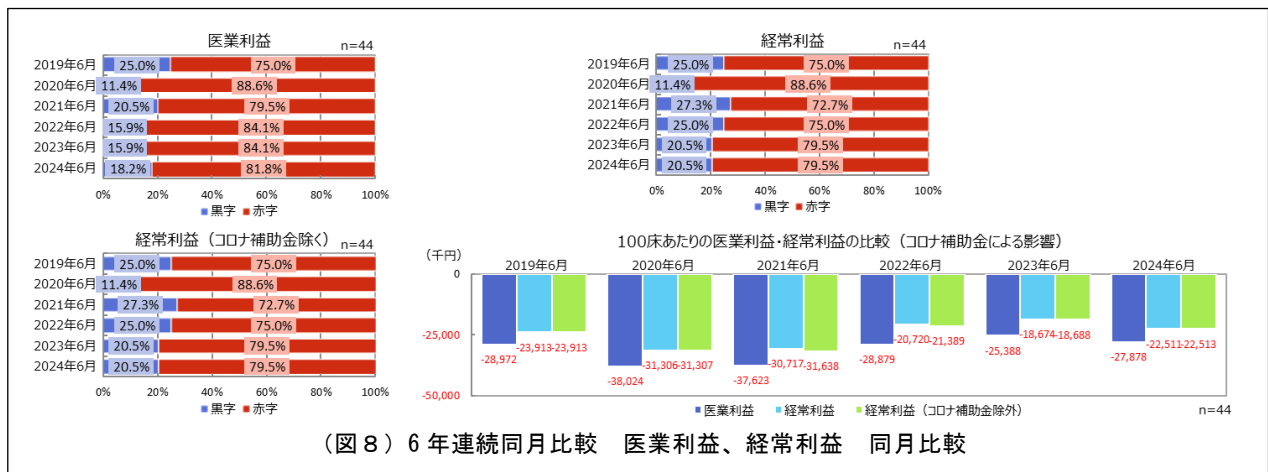


(図7) 一病院あたりの診療収益の対前年比

(4) 6年連続同月比較 医業利益、経常利益(新型コロナウイルス感染拡大による影響)

2019年から2024年の各6月期における6年連続の同月比較では、医業利益の赤字病院割合は、2019年75.0%より2020年は88.6%に増加し、2021年79.5%、2022年・2023年84.1%とほぼ横ばいで推移し、2024年は81.8%であった。経常利益の赤字病院割合では、2019年は75.0%より2020年は88.6%に急増し、2021年72.7%、2022年75.0%と減少がみられたが、2023年、2024年には79.5%へと増加していた。また、経常利益とコロナ関連の補助金を除く経常利益との比較では、赤字病院割合は6年すべて同率で推移し、各年6月期には補助金の影響はみられなかった。

2024年6月医業利益は-2,787万円に対して経常利益、コロナ関連の補助金を除く経常利益は-2,251万円であった(図8)。



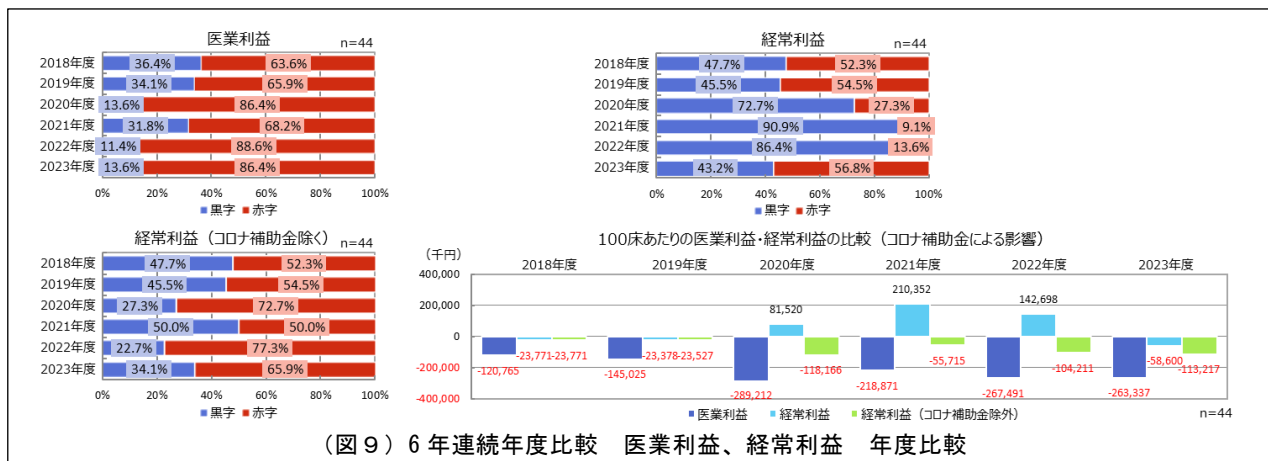
(図8) 6年連続同月比較 医業利益、経常利益 同月比較

2. 医業損益(新型コロナウイルス感染拡大による影響)の年度比較

(2018年度/2019年度/2020年度/2021年度/2022年度/2023年度)

(1) 6年連続年度比較 医業利益、経常利益 年度比較

2018年度から2023年度の6年連続通年比較で医業利益をみると、赤字病院割合が2018年度63.6%、2019年度の65.9%から2020年度に86.4%に急増し、2021年に68.2%に減少したが、2022年度88.6%、2023年度86.4%へと再び増加した。経常利益は赤字病院割合が2018年度47.7%、2019年度は45.5%であったが、2020年度には72.7%へと大幅に増加し、2021年度90.9%、2022



(図9) 6年連続年度比較 医業利益、経常利益 年度比較

年度は86.4%と続いたが、2023年度は43.2%に低下した。

一方で、経常利益と緊急包括支援事業等コロナ関連の補助金を除く経常利益の黒字病院割合を比較すると、2020年度が72.7%と27.3%、2021年度は90.9%と50.0%、2022年度は86.4%と22.7%となり3年続けて40ポイントを超える大きな乖離がみられたが、2023年度は43.2%と34.1%、の9.1ポイント差に縮まった。また、100床あたりの医業利益・経常利益の比較では、2023年度はコロナ関連の補助金を除く経常利益を含めてすべて赤字であった。(図9)。

(2) 一病院あたりの損益

6年連続通年比較では、2023年度の一病院あたりの医業損益を対2018年比で見ると、医業収益の+10.3%に対して医業費用は+14.7%となり、医業利益の赤字額は拡大し、医業利益率は2018年度の-4.2%から2023年度が-8.3%であった。経常利益は、2019年度以前が赤字、医業外収益の大幅な増収により2020年度～2022年度は黒字に転じたが、2023年度は赤字であった。

一病院あたりの医業利益の赤字額は、2018年度の-48,929万円から2020年度には-117,177万円まで拡大し、2023年度は-105,801万円へと増加した。経常利益では2018年度が-9,631万円、2019年度-9,472万円の赤字から、2020年度には33,028万円の黒字に転じ、2021年度は84,748万円で黒字額の最大であったが、2023年度は-23,543万円の赤字となった、

100床あたりの平均で2023年度の医業利益は-26,333万円、経常利益が-5,860万円に対して、コロナ関連の補助金等を除く経常利益は-11,321万円、すべての補助金を除く損益差額についても-22,225万円の赤字であった。なお、コロナ関連緊急包括支援事業補助金額は、100床あたり5,461万円であった。(表9)。

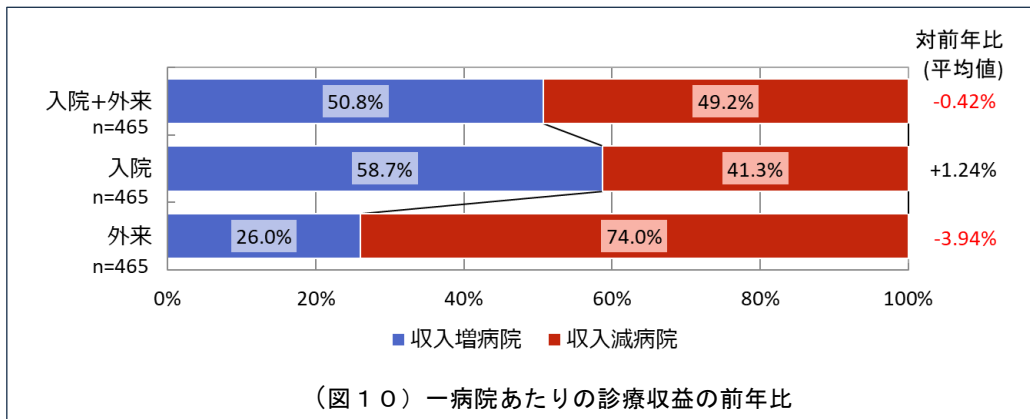
科目 (単位:千円)	一病院あたりの損益						100床あたりの平均						対前年比				n=44
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	対2018年比	対2019年比	対2020年比	対2021年比	
① 医業収益	11,696,468	12,061,386	11,471,383	12,185,753	12,467,997	12,798,000	2,886,883	2,976,951	2,831,328	3,024,613	3,103,246	3,185,383	10.3%	7.0%	12.5%	5.3%	2.6%
② 医業費用	12,185,758	12,648,969	12,643,153	13,067,555	13,542,701	13,856,015	3,007,648	3,121,976	3,120,540	3,243,484	3,370,737	3,448,720	14.7%	10.5%	10.5%	6.3%	2.3%
③ 医業利益 (①-②)	-489,290	-587,583	-1,171,770	-881,802	-1,074,704	-1,058,014	-120,765	-145,025	-289,212	-218,871	-267,491	-263,337					
④ 医業外収益	597,296	678,313	1,688,300	1,936,618	1,843,932	998,917	147,422	167,419	416,701	480,686	458,949	248,627	68.6%	48.5%	-40.3%	-48.3%	-45.8%
⑤ 医業外費用	204,317	185,451	186,243	207,335	195,905	176,342	50,429	45,772	45,968	51,462	48,760	43,891	-13.0%	-4.1%	-4.5%	-14.7%	-10.0%
⑥ 経常利益 ((①+④)-(②+⑤))	-96,312	-94,720	330,288	847,481	573,322	-235,439	-23,771	-23,378	81,520	210,352	142,698	-58,600					
コロナ関連の補助金を除く経常利益 (⑥-⑦)	-96,312	-95,322	-478,760	-224,468	-418,691	-454,874	-23,771	-23,527	-118,166	-55,715	-104,211	-113,217					
医業利益率 (③÷①)	-4.2%	-4.9%	-10.2%	-7.2%	-8.6%	-8.3%	-4.2%	-4.9%	-10.2%	-7.2%	-8.6%	-8.3%					
経常利益率 (⑥÷①)	-0.8%	-0.8%	2.9%	7.0%	4.6%	-1.8%	-0.8%	-0.8%	2.9%	7.0%	4.6%	-1.8%					
※1 補助金 (運営・施設・その他)	321,201	375,896	1,383,978	1,603,526	1,458,588	657,501	79,278	92,777	341,589	398,009	363,038	163,650	106.4%	76.4%	-52.1%	-58.9%	-54.9%
※2 補助金を除く医業外収益 (④-※1)	276,095	302,417	304,322	333,092	385,343	341,417	68,145	74,642	75,112	82,676	95,911	84,978	24.7%	13.8%	13.1%	2.8%	-11.4%
※3 損益差額 (③+※2-⑤)	-417,513	-470,616	-1,053,690	-756,044	-885,266	-892,939	-103,049	-116,156	-260,068	-187,657	-220,340	-222,250					
⑦ コロナ関連 緊急包括支援事業 補助金		602	809,048	1,071,949	992,013	219,436		148	199,686	266,067	246,909	54,617					
⑧ 水道光熱費 補助金				0	7,106	13,110					0	1,769					
⑨ 人材紹介会社へ支払う紹介手数料・委託料					3,304	8,773					822	2,184					

(表9) 一病院あたりの損益・100床あたりの平均

Ⅶ. 診療収益・診療単価・延患者数の前年同月比較 (2023年6月/2024年6月)

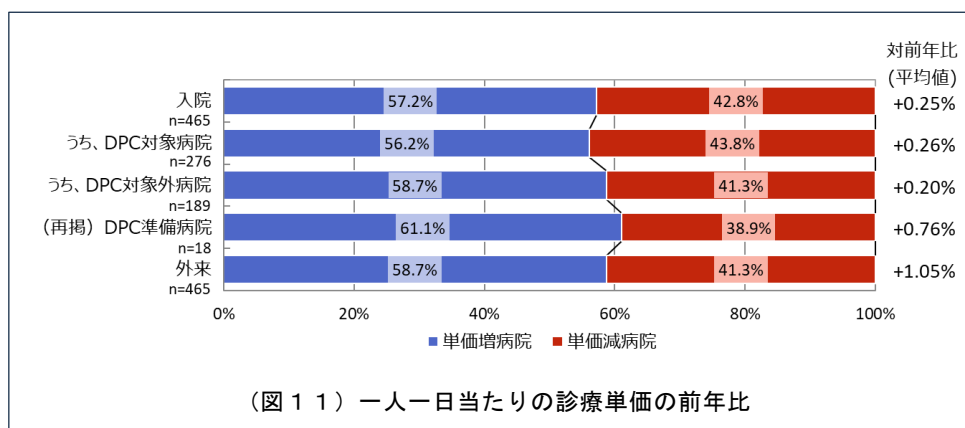
(1) 一病院あたりの診療収益の前年比

2023年6月期及び2024年6月期の前年同月比較において入院+外来の診療収益は、収入増病院の割合が50.8%に対して、対前年比は-0.42%の減収であった。入院、外来診療収益の増収病院割合は、入院が58.7%、外来が26.0%となっていた。対前年比は、入院+1.24%、外来-3.94%であった(図10)。

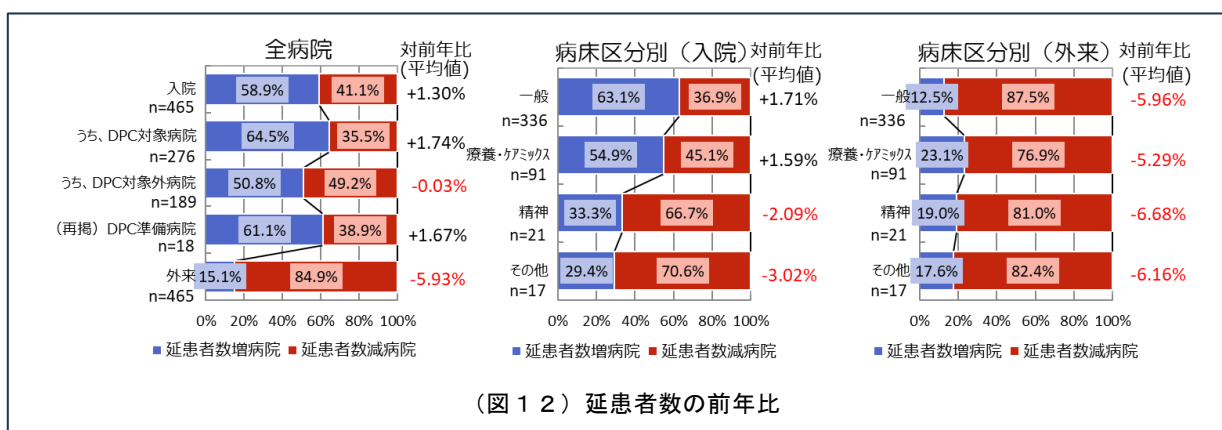


(2) 一人一日あたりの診療単価の前年比

診療単価増病院の割合は、入院 57.2%（うち DPC 対象病院 56.2%、DPC 対象外病院 58.7%）、外来 58.7%であった。対前年比では、入院全体で+0.25%（DPC 対象病院+0.26%、DPC 対象外病院+0.20%）、外来は+1.05%の単価増となっていた（図 11）。



(3) 延患者数の前年比



延患者数増病院の割合は、入院 58.9%（DPC 対象病院 64.5%、DPC 対象外病院 50.8%）、外来 15.1%であった。対前年比は、入院+1.30%（DPC 対象病院+1.74%、DPC 対象外病院-0.03%）、外来-5.93%であった。（図 12）。

IX. 名簿

一般社団法人	日本病院会	会長	相澤 孝夫
公益社団法人	全日本病院協会	会長	猪口 雄二
一般社団法人	日本医療法人協会	会長	加納 繁照

<病院団体合同調査ワーキンググループ>

日本病院会	副会長		島 弘志
日本病院会	診療報酬作業小委員会	委員長	永易 卓
日本病院会	診療報酬作業小委員会	委員	中山 和則(代理)
日本病院会	診療報酬作業小委員会	委員	原口 博(代理)
全日本病院協会	医療保険・診療報酬委員会	委員長	津留 英智
全日本病院協会	医療保険・診療報酬委員会	副委員長	太田 圭洋
全日本病院協会	医療保険・診療報酬委員会	委員	西本 育夫
日本医療法人協会	副会長		太田 圭洋

<日本病院会 診療報酬検討委員会>

委員長	島 弘志	新古賀病院	総病院長
副委員長	岡 俊明	聖隷浜松病院	病院長
委員	梶川 昌二	諏訪赤十字病院	病院長
	北村 立	石川県立こころの病院	病院長
	富満 弘之	JA とりで総合医療センター	院長
	牧野 憲一	旭川赤十字病院	病院長
	松本 隆利	八千代病院	名誉院長
	永易 卓	若弘会本部	理事・総務部長
	須貝 和則	国立国際医療研究センター	医事管理部 部長

<全日本病院協会 医療保険・診療報酬委員会>

委員長	津留 英智	宗像水光会総合病院	理事長
副委員長	太田 圭洋	名古屋記念病院	理事長
委員	田蔭 正治	たまき青空病院	理事長
	濱砂 カヨ	宮崎善仁会病院	理事長
	丸山 泰幸	岩槻南病院	理事長・院長
	西本 育夫	横浜メディカルグループ	業務部長
	増田 好美	新生会第一病院	医事課長

<日本医療法人協会 医療・介護保険・地域包括ケア部会>

部会長	関 健	城西病院	理事長・総長
部会員	太田 圭洋	名古屋記念病院	理事長
	西村 直久	西部総合病院	理事長
	金澤 知徳	青磁野リハビリテーション病院	理事長
	佐能 量雄	光生病院	理事長
	高橋 幹治	片倉病院	理事長
	谷本 康信	本郷中央病院	病院長
	鬼塚 一郎	田主丸中央病院	理事長
	田辺 裕久	朝倉病院	理事長
	武田 隆久	武田総合病院	理事長
	武田 敏也	京都武田病院	理事長

<日本病院会 診療報酬作業小委員会>

委員長	永易 卓	若弘会本部	理事・総務部長
副委員長	佐合 茂樹	中部国際医療センター	病院長補佐・事務長
委員	朝見 浩一	国際医療福祉大学三田病院	事務局 運営部長
	荒井 康夫	北里大学未来工学部データサイエンス学科	講師
	池田 隆一	相澤東病院	事務長・医療連携センター センター長
	北澤 将	国家公務員共済組合連合会 東北公済病院	事務部長
	中山 和則	筑波メディカルセンター病院	副院長・事務部長
	原口 博	公立昭和病院	事務局長
	平井 幸彦	新古賀病院	診療情報管理室 統括課長
特別委員	田畑 久美	沼津中央病院	事務部長